

米国に森精機新会社「Mori Seiki Mid-American Sales, Inc.」を設立。

Mori Seiki Mid-American Sales, Inc. (※以下 MSMAS) は、10月1日より営業を開始いたしました。

この新会社は、米国中西部を担当する森精機機械の販売店様である山善とのジョイントベンチャーで、森精機80%、山善20%の共同出資となっています。この新会社の体制として、本部をイリノイ州ローリングメドウの森精機シカゴテクニカルセンター内に置き、シカゴ地域を基盤としてさらに5つの事務所を以下の主要都市に設けています。これらの支部ネットワークと、65人の従業員でMSMASは営業を開始しました。米国の経済状況によるところはありますが、目標として今後6ヶ月から1年の間でMSMASを約90人の従業員規模にまで拡大する予定です。

- ウィスコンシン州ミルウォーキー
- アイオワ州デモイン
- インディアナ州インディアナポリス
- オハイオ州クリーブランド
- オハイオ州シンシナティ

※ ミズーリ州セントルイスにも駐在員はありますが、事務所はまだありません。

MSMAS設立の目的は、「森精機」をできる限りお客様に近く、またお客様の立場で実践する企業として、その存在を確立することです。工作機械業界におけるすべての企業が、潜在的な顧客に対し、より速く、効率的に、そして効果的にコミュニケーションを取ることができれば、今後の業界全体の発展へとつながると考えています。この考えのもと、MSMASはお客様との関係向上に、メーカーと販売店の良い点を併せ持つ会社として設立されました。米国で最初の試みであり、米国に向けた大きな挑戦でもありますが、私どものジョイントベンチャーが成功することで、工作機械メーカーと販売店様との関係を変えることができると強く確信しています。



オープンセレモニーの様様。



MSMAS社員(全65名)とMori Seiki USA社員一同。新会社への誇りと新たな責任への自覚を共感する顔ぶれたち。

変化をあまり好まないこの業界において、誕生したばかりの会社が業界に変化をもたらそうとしています。世界中の森精機グループからの迅速なサポート、またMSMASにかかわるすべての森精機社員の支援とともに、このジョイントベンチャーを成功させるべく尽力いたします。まずは米国中西部にて、弊社機械を利用されるすべてのお客様に対し明確なメリットをもたらすことで、販売店の皆さまがこの新会社を誇りに思っただけのようにしたい、そう考えています。そしてこれが達成されれば、担当地域でのマーケットシェアを拡大することになります。